

社會大衆黨系である北豊前農民組合を日本農民組合と五十歩百歩である同組合幹部の最近の行動の一例を挙げれば同組合員の一人が地主のために土地を引上げられる時「よし俺にまかせろ！」と幹部が一人で交渉に行き滞納小作米三年分を強引して土地は無條件で返して了つた吾々小作人に取つては土地だけが一番大事なのだその土地を返すことを一人て篤志も勝手に承諾して来る奴こそ俺達の敵てはまくて何だ。だが注意せねばならぬのは日農の幹部の放任主義に反し北豊前農民組合では幾分ても小作米を減免させてゐることである

以上は日農並に北豊前の情勢であるがその他に三井郡に筑後農民組合がある。これも亦日農と五十歩百歩である最近この組合の内の三十歳歳者が吾々の組合に加入したこれはどう幹部の指導下にあつては自己の生活を守り得ない事を痛覺したためだ。吾々はかゝる右翼組合の指導下にある大衆を我が全國會議に獲得しをけれ

ばならぬ。

實行方法 イ、具體的を調査を行ふこと。特に現在起されてゐる闘争とそれに対する闘争方針の調査過去の闘争に於ける幹部の眞切り行爲の調査、階級層（貧農か中農か）の調査、活動分子、青年の調査、不平不満の調査を行はねばならぬ。

ロ、草反活動と農委活動を行つて全會の方針を持ち込むこと吾々はあらゆる機會を捕へて右翼組合員と接近しボスの正体をバクボすると共に全會の正しい方針を説き眞面目な大衆の信頼ある人を吾々の組織に獲得すべくしてゐるそしてその獲得した人をして世話を活動を行はせ全會の方針を大衆の中に浸透させねばならぬこの場合全會の方針を支持したものだけが分裂して独自の行動をせずあくまでその組織に止まり全會を支持するまでは草反としての共闘活動、農委活動等を積極活動を行なうべきであらぬ又附近の支那からはあらゆる問題に關し下からの共同闘争、農委活動等を